

(株)リコー 沼津事業所における 化学物質管理と リスクコミュニケーション

2006年1月28日

(株)リコー 沼津事業所 沼津総務センター

RICOH

1. (株)リコー沼津事業所について

① 沼津事業所の概要

2. 化学物質管理について

① 方針

② 管理体制

③ 管理システム

3. リスクコミュニケーションについて

① 社内

② 地域社会

③ 情報開示

4. 環境負荷低減活動について

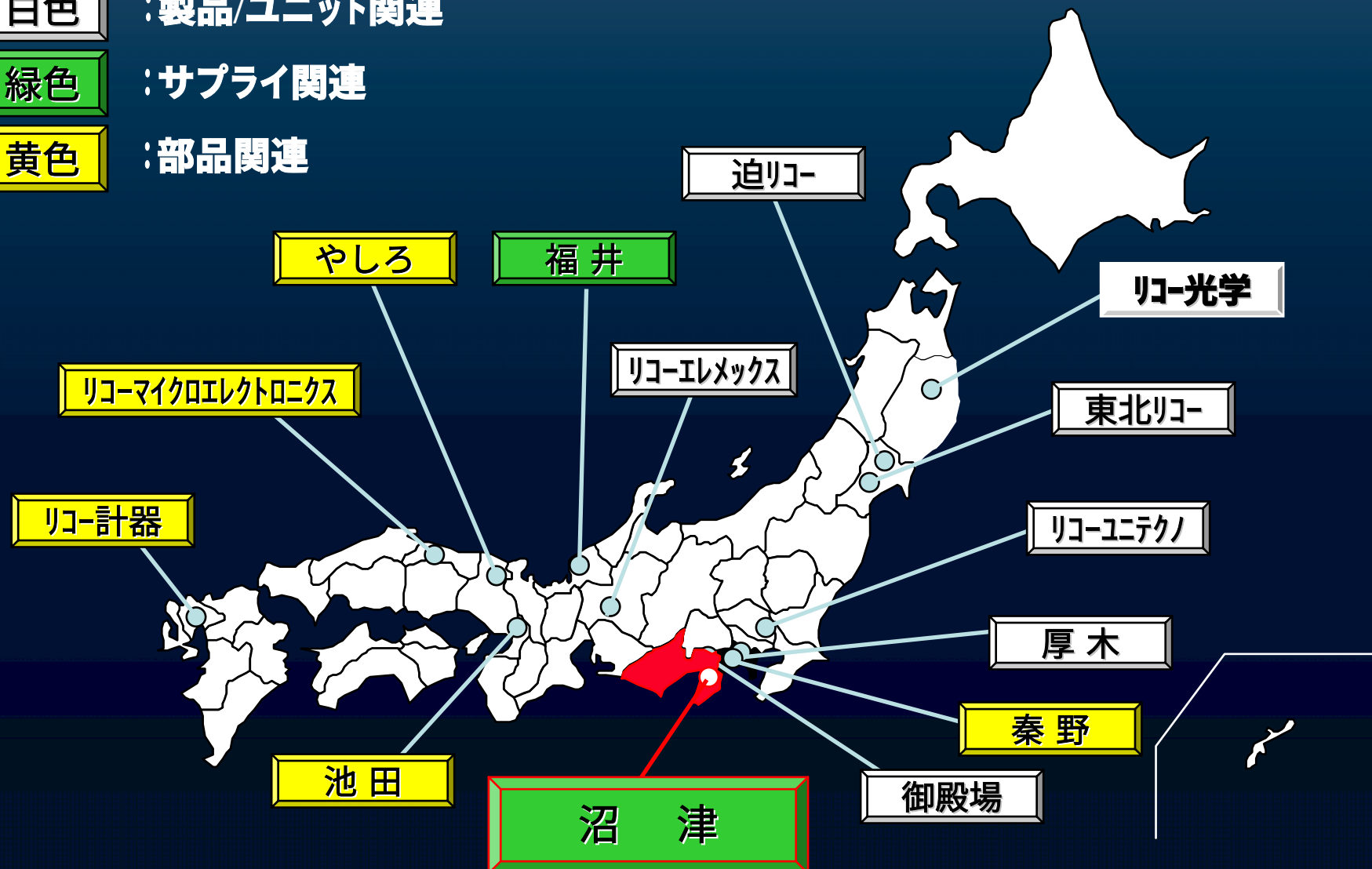
① 大気汚染防止

5. 課題と今後の進め方

(株) リコー国内生産拠点

RICOH

- 白色 : 製品/ユニット関連
- 緑色 : サプライ関連
- 黄色 : 部品関連



沼津事業所の概要

RICOH

2004年5月1日現在

- 1.操業開始 1960年4月1日
- 2.敷地面積 119,848m²
- 3.建物面積 79,724m²
- 4.従業員数 1,760名(社員968名)
- 5.平均年齢 41.6才
- 6.事業内容 情報機器関連サプライ
研究・開発・製造
- 7.事業所長



執行役員
安達 弘
(あだち ひろし)



『情報機器関連サプライの研究・開発・製造』

サーマル
リライタブルフィルム



熱転写リボン



サーマル製品



トナー



有機光半導体



インク
(ジェルジェットカートリッジ)



1. (株)リコー沼津事業所について

① 沼津事業所の概要

2. 化学物質管理について

① 方針

② 管理体制

③ 管理システム

3. リスクコミュニケーションについて

① 社内

② 地域社会

③ 情報開示

4. 環境負荷低減活動について

① 大気汚染防止

5. 課題と今後の進め方

化学物質管理方針

RICOH

《リコーグループ環境綱領》

RICOH

リコーグループ環境綱領

基本方針

リコーグループは、環境保全は我々地球市民に課せられた使命と認識するのみならず、環境保全活動と経営活動を同軸であると考え、自ら責任を持ち、全グループをあげてその活動に取り組む。

行動指針

1. 国内外の法規制の遵守はもとより、自らの責任において、社会の期待を考慮した環境負荷低減の目標を設定し、その実現を通じて経済価値の創出に努めていく。
2. 環境負荷低減を可能にする技術革新の推進に努め、その技術を積極的に活用していく。
3. **すべての事業活動において環境への影響を把握し、全員参加で汚染予防や、エネルギーおよび資源の有効利用について継続的改善を行っていく。**
4. 商品とサービスの提供にあたっては、調達・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至るすべての段階における環境負荷の低減に努めていく。
5. 一人ひとりが広く社会に目を向け、積極的な学習を通して意識向上を図り、自ら責任を持って環境保全活動を進めていく。
6. あらゆる国や地域において、社会との連携を密にし、積極的な情報開示、環境保全活動への参画・支援によって、広く社会に貢献していく。

2004年10月

リコーグループCEO

櫻井正光

《沼津事業所環境方針》

RICOH



沼津事業所・福井事業所

《環境方針》

私たちは、「リコーグループ環境綱領」に基づき環境保全活動を経営の重要な課題として強く認識し、全員参加で地球環境保全に取り組む。

1. 事業活動にかかわる環境関連法規制並びに環境側面に係る同意したその他の要求事項を遵守する。
2. 環境負荷低減を可能にする技術革新の推進に努め、その技術を積極的に活用するとともに経済価値の創出との両立に努めていく。
3. 環境保全推進体制の継続的維持・改善を行うとともに**事業所のすべての分野で、調達・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至るすべての段階における汚染予防、省資源・リサイクル、省エネルギーの継続的な改善活動を行っていく。**
4. 一人ひとりが広く社会に目を向け、積極的な学習を通して意識向上を図り、地球市民として責任を持った環境保全活動を進めていく。
5. 事業所の全員に環境方針を周知するとともに、地域社会への積極的な情報開示、環境保全活動への参画・助成・支援によって広く社会に貢献していく。

制定日 : 1996年08月19日

改訂日-A : 2000年10月01日

改訂日-B : 2005年04月01日

事業所運営委員会委員長

安達 弘

《労働安全衛生方針》

RICOH



沼津事業所

《労働安全衛生方針》

—安全は全てに優先する—

事業所で働く全員が「かけがえない存在」であり、人の面では「常に問題・課題認識を持ち、改善行動を継続する事で危険予知能力向上」を図り、職場環境の面では『安全を意識しなくても安全が確保できる職場づくり!』を目指す事を労働安全衛生活動の狙いとする。

1. 当事業所はOA機器関連サプライヤとサーマル関連商品を製造する設備・装置を有し、その主なリスクは「人と設備の係わり」と「設備の不具合」に起因するものと認識し、本質安全を考慮した技術・生産革新と労働環境変化を先取りした継続的なリスク(危険源)低減活動を図ります。
2. 労働安全衛生に関する法規制や事業所が同意した協定及び社内規定類に定めた事項を遵守します。
3. 労働安全衛生方針は全従業員に周知し、労働安全衛生活動へ参画することで、労働安全衛生意識の向上を図ります。
4. 労働安全衛生マネジメントシステムの適切性・妥当性・有効性を維持するため、定期的又は必要都度見直します。

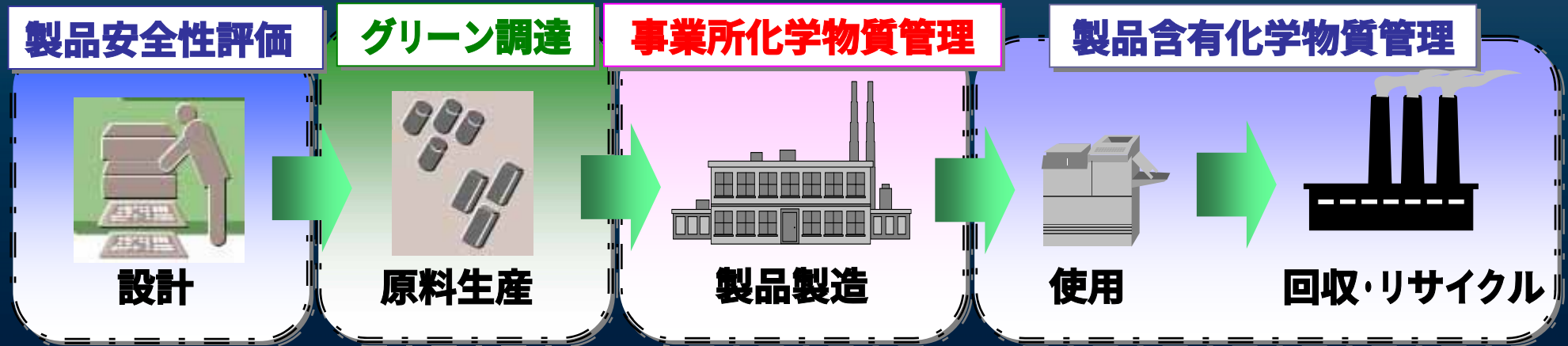
2004年4月1日

株式会社リコー沼津事業所長

安達 弘

- ・環境汚染に関しては、「**すべての分野の機能**」で、**継続的な改善**を方針としています。
- ・労働安全衛生面では、「**安全を全てに優先**」させた**リスク低減**を方針としています。

化学物質による環境汚染に対する管理領域 RICOH



リスク = ハザード × 暴露

トータルリスクを最小限にする

企業として、化学物質が安全かつ有益に利用されるように化学物質の**設計・原材料購入から廃棄における全領域**を管理しています。

使用禁止物質、管理物質の対象

RICOH

リコー禁止物質 [70物質]

発がん性→高い
毒性→高い

リコー削減物質 [179物質]

発がん性→やや高い
毒性→やや高い

リコー管理物質 [435物質] (RGで管理)

発がん性→疑いあり
毒性→疑いあり

リコー管理対象外の物質 (事業所で管理)

ー 沼津事業所では、10物質を独自に管理ー

環境影響化学物質
リコー削減対象物質
249物質

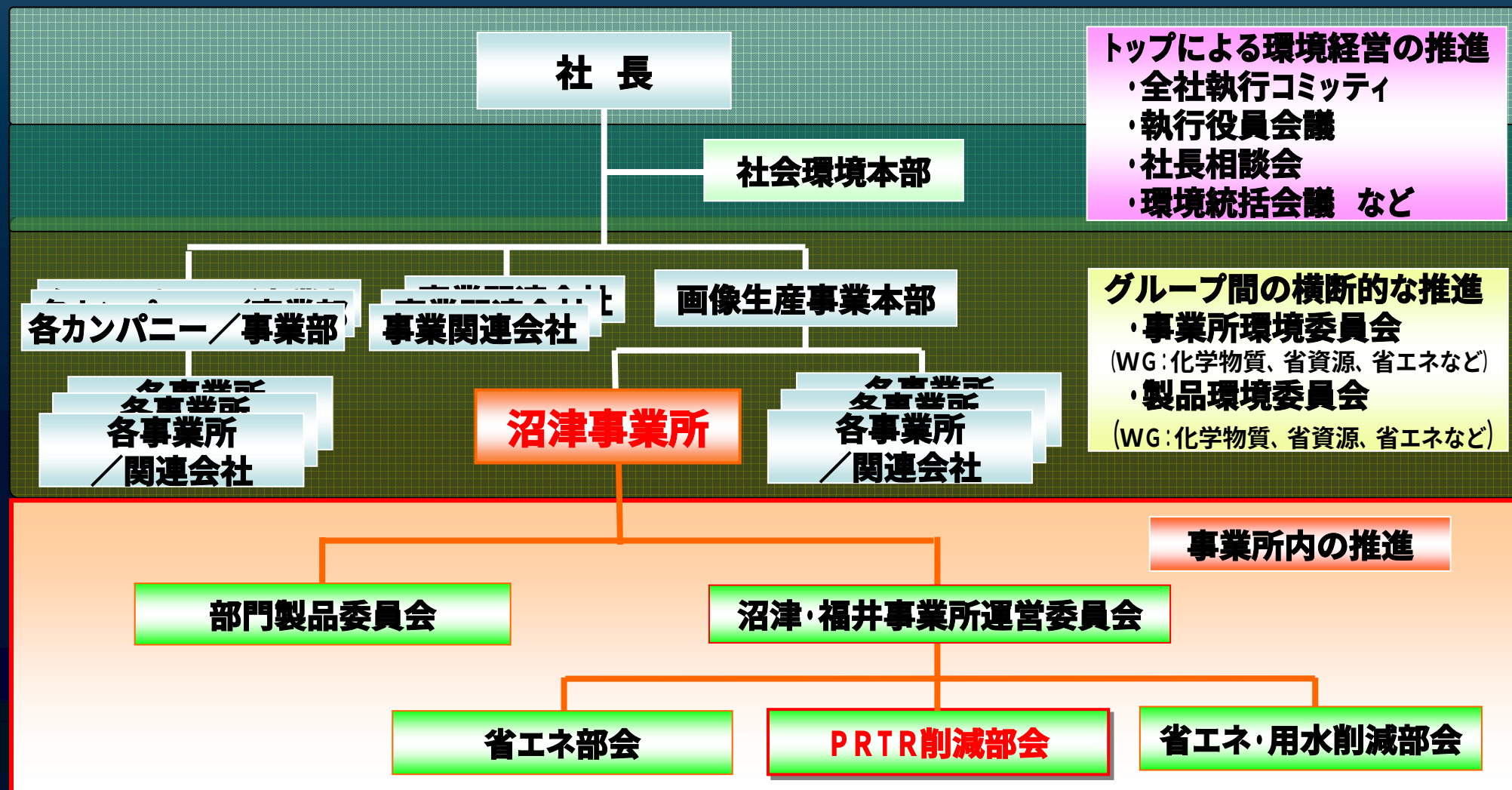
環境影響化学物質
リコー管理対象物質
684物質

リコーでは684物質を管理対象とし、その中で環境影響の大きな249物質を重点的に削減しています。

化学物質管理体制

RICOH

《リコーグループと沼津事業所における環境管理体制》

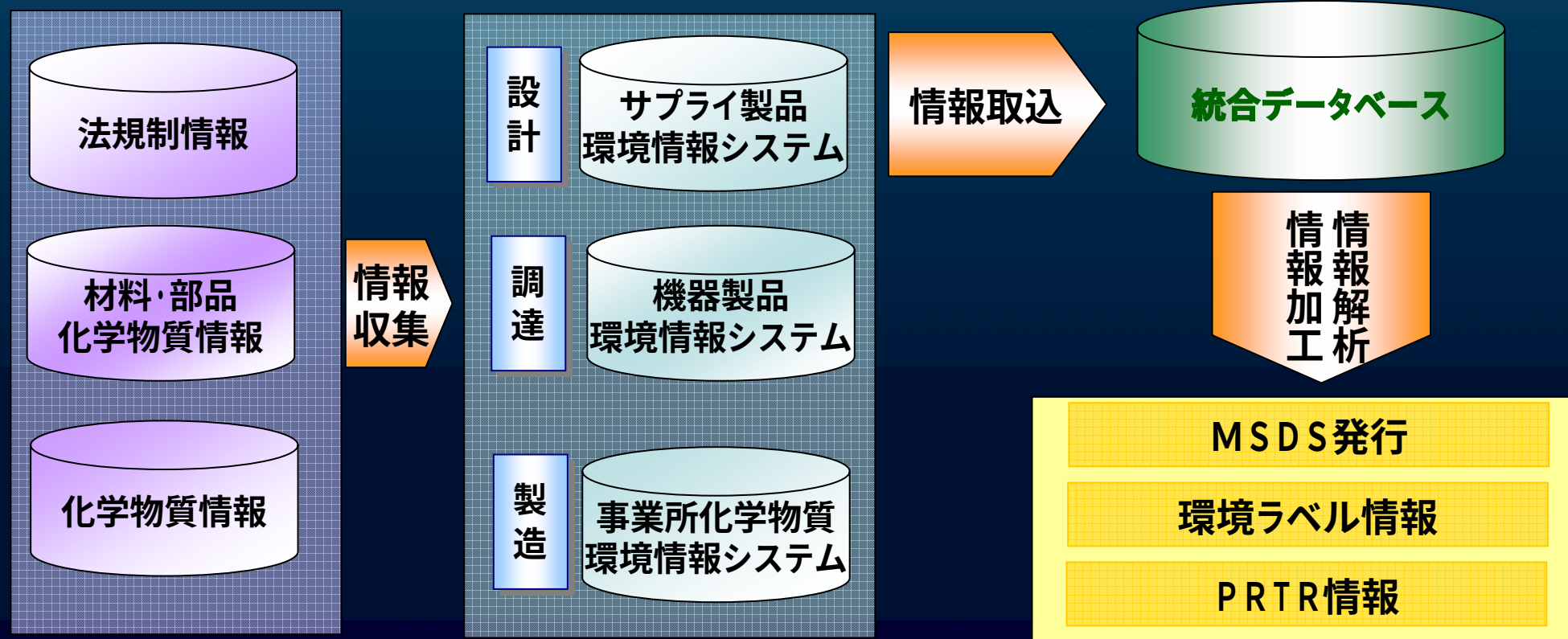


全社および事業所・部門毎にPDCAを回し、全員参加の環境経営を推進しています。

化学物質管理システム

RICOH

《リコーグループ化学物質管理システム》



リコーグループでは、化学物質管理システムにより環境配慮設計、化学物質管理の推進（使用・排出・移動量の管理）に活用しています。

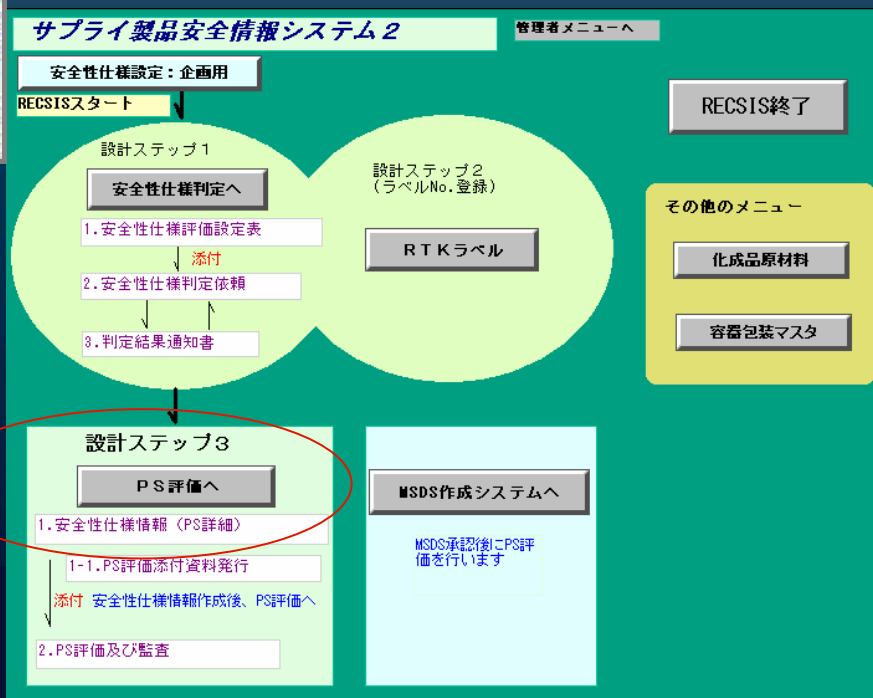
RICOH

ステップ	担当部署	販売	企画	製品設計	品質保証 (品質監査)	社環本 環境安全C	
商品企画 ステップ	企	仕向け先設定 輸入業者設定 OEM先設定	製品安全基準/仕向け地 /ブランド/生産地決定				法
			安全性仕様設定 (企画仕様書)	(必要に応じて)	品質監査 (委託業務)	安全性仕様設定 (企画仕様書)確認	
製品設計 ステップ	製			安全性仕様評価設定表作成		安全性仕様設定 妥当性確認	規
			原材料/製品の安全性評価、容器表示対応、 法規制対応状況確認/法的届け出依頼		法的届け出依頼	届出・申請書の作成	
工程設計 ステップ	技			安全性仕様情報作成、基本MSDS作成 製品内容通知書作成 PS評価結果データ(処方部分)作成	品質監査 (委託業務)	安全性項目の監査 (PS 監査)	情
			基本MSDS最終承認		届出・申請	基本MSDS登録	
量産/販売 ステップ	量			容器・包装の安全性評価、容器表示対応、 法規制対応状況確認		安全性項目の監査 (PS 監査)	報
			容器・包装安全性仕様情報作成、 製品MSDS作成、 PS評価結果データ(製品)作成	品質監査 (委託業務)	製品MSDS登録 (Pubsys. of MSDS)		
		仕向け先追加 輸入業者追加 OEM先追加		製品MSDS最終承認		MSDS発行 各種証明書発行	の
							提
							供

11

化学物質管理システムの運用

RICOH



※PS：Product Safety (製品安全活動)

製品安全 (PS) 問題が発生しないように製造業者等が行うPLP (Product Liability Prevention：製造物責任予防の略称) 活動とPS問題処理活動及びPL訴訟の際、製造業者等が講じる法的対応を行うPLD (Product Liability Defense：製造物責任防御の略称) 活動を合わせた活動をいう。

9. リコー禁止物質

①リコー事業所使用禁止物質、削減対象物質

使用の有無：☒ 使用 ☐ 使用せず

↑取消ボタン

該当物質：「」

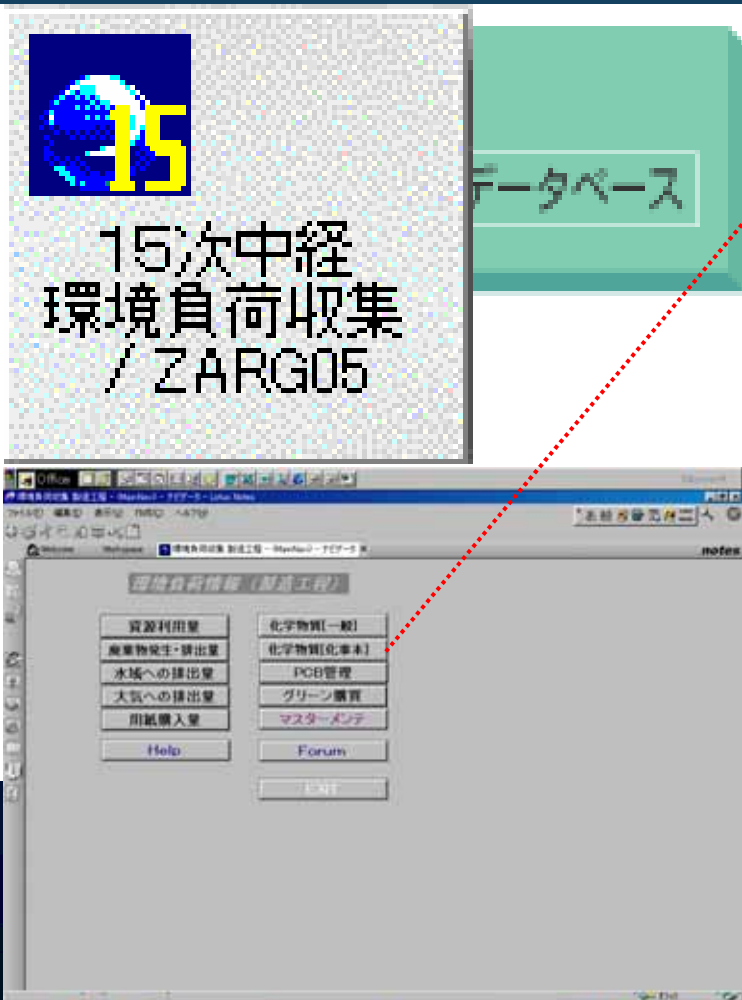
備考：「」

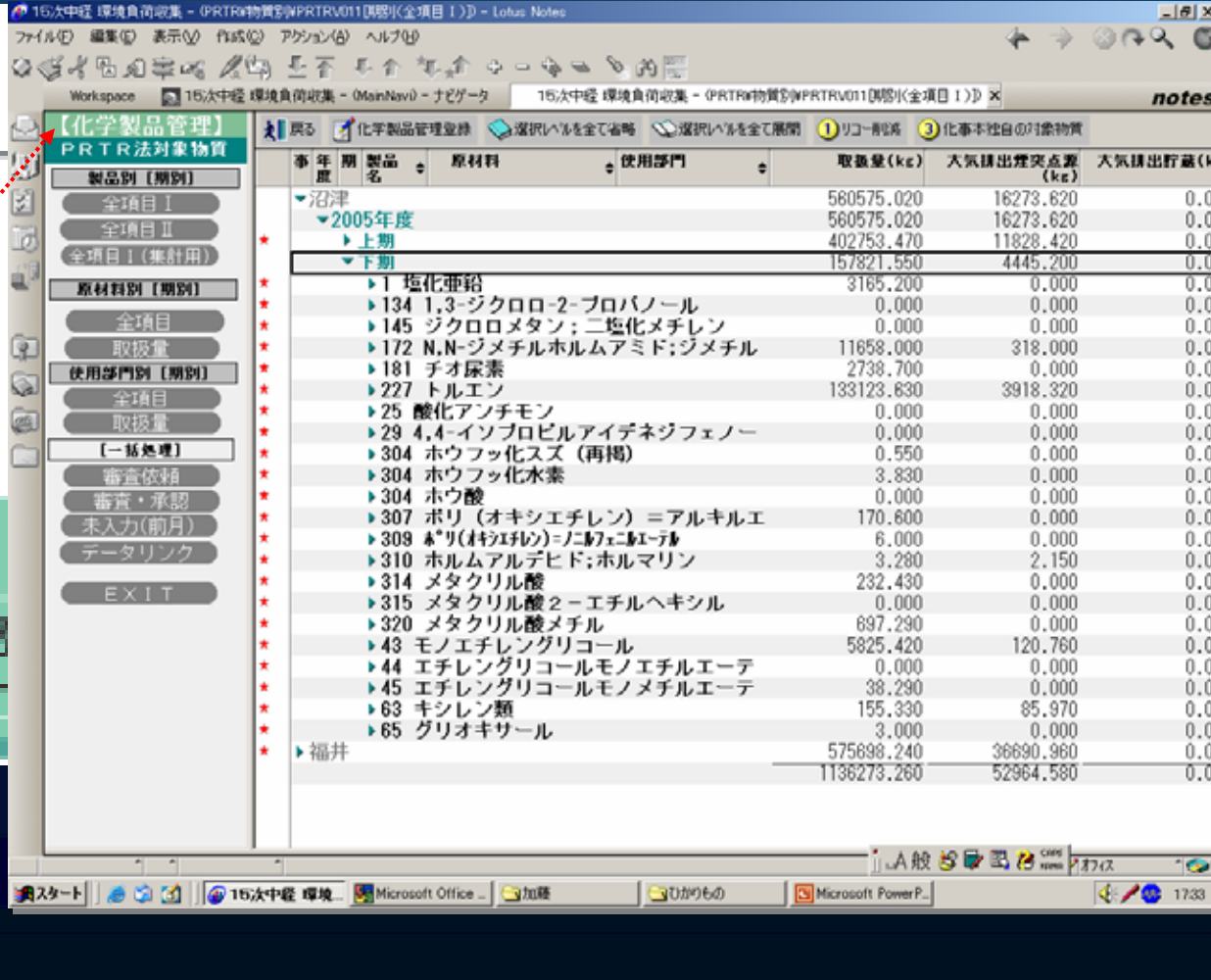
安全性仕様情報の中で関連法規制等と同時にリコー使用禁止物質、削減対象物質についても評価を実施しています。使用削減物質情報は、事業所管理に活用します。

化学物質管理システム（事業所系）

RICOH

1.化学物質管理のシステム（事業所データ管理）





事 年 度	製 品 名	原 材 料	使 用 部 門	取 扱 量 (kg)	大 気 排 出 点 数 (kg)	大 気 排 出 量 (kg)
2005年度	沼津			580575.020	16273.620	0.00
2005年度	上期			580575.020	16273.620	0.00
2005年度	下期			402753.470	11828.420	0.00
2005年度	下期			157821.550	4445.200	0.00
2005年度	下期			3165.200	0.000	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			11658.000	318.000	0.00
2005年度	下期			2739.700	0.000	0.00
2005年度	下期			133123.830	3918.320	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			0.550	0.000	0.00
2005年度	下期			3.830	0.000	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			170.600	0.000	0.00
2005年度	下期			6.000	0.000	0.00
2005年度	下期			3.280	2.150	0.00
2005年度	下期			232.430	0.000	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			697.290	0.000	0.00
2005年度	下期			5825.420	120.760	0.00
2005年度	下期			0.000	0.000	0.00
2005年度	下期			38.290	0.000	0.00
2005年度	下期			155.330	85.970	0.00
2005年度	下期			3.000	0.000	0.00
2005年度	下期			575698.240	36690.960	0.00
2005年度	下期			1136273.260	52964.580	0.00

化学物質の月々の使用量／排出量／移動量の情報をDBにて管理し、**PTR法の届出や削減目標の達成状況データに活用**しています。

化学物質管理システムの運用

RICOH

(1.化学物質管理のシステム(事業所データ活用事例))

平成16年度実績届出書

様式第1(第5条関係)。

第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書。

平成17年5月 日。

経済産業大臣(静岡県知事) 殿

(ふりがな) 〒143-8555 なかまこめ

届出者 住 所 東京都大田区中馬込1-3-6。

株式会社リコー 代表取締役社長 さくらいまさみつ。

氏 名 桜井 正光。

(代理人) あたちひろし。

執行役員 沼津事業所長 安達 弘 印。

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)。

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第5条第2項の規定により、第一種指定化学物質の排出量及び移動量について、次のとおり届け出ます。

事業所	(ふりがな) かんしきがしや。
事業所の名称	株式会社 リコー。
前回の届出における名称	。
(ふりがな) ぬまつしぎようしや みなみ。	
事業所の名称	沼津事業所 南ブランド。
前回の届出における名称	。
所在地	〒410-8505。
(ふりがな) 静岡県 沼津市 本町。	
本町 16番1号。	

事業所において常時使用される従業員の数。 539名。

事業所において行われる事業が属する業種。	業 種 名。	業種コード。
うち主たるもの。	化学工業。	2000。
	。	。
	。	。
	。	。
	。	。

第一種指定化学物質の排出量及び移動量。 別紙番号1~7 のとおり。

本届出が法第6条第1項の請求に係るものであることの有無(該当するものに○をすること)。

1. 有。

2. 無。

担 当 者 部 署 関リコー沼津事業所 沼津総務センター 環境安全推進グループ。

(ふりがな) なかくら あきよし。

氏 名 長倉 明彦。

電 話 番 号 055-920-1021。

※受理日。 年 月 日。 ※整理番号。

別紙番号。

4。

第一種指定化学物質の名称並びに排出量及び移動量。

第一種指定化学物質の名称。	トルエン。			
第一種指定化学物質の番号。	227。	単位(該当するものに○をすること)。	①. kg。	②. mg-TEQ。
排出量	イ 大気への排出。	150.000		
	ロ 公共用水域への排出。	0.0	排出先の河川、湖沼、海域等の名称。	
	ハ 当該事業所における土壌への排出(二以外)。	0.0		
	ニ 当該事業所における埋立処分。	0.0	埋立処分を行う場所(該当するものに○をすること)。	1. 安定型。 2. 管理型。 3. 遮断型。
移動量	イ 下水道への移動。	0.0		
	ロ 当該事業所の外への移動(イ以外)。	6.200.0		
※整理番号。				

1. (株)リコー沼津事業所について

① 沼津事業所の概要

2. 化学物質管理について

① 方針

② 管理体制

③ 管理システム

3. リスクコミュニケーションについて

① 社内

② 地域社会

③ 情報開示

4. 環境負荷低減活動について

① 大気汚染防止

5. 課題と今後の進め方

リスクコミュニケーション (社内)

RICOH

1.化学物質 (原材料) の有害性情報の共有化

【原材料データ (MSDS) の情報共有化と活用】

『化成品原材料』DBにて化学物質のMSDSを公開することで、取扱者の労働衛生・緊急時対応 (火災・流出) の教育・訓練に活用しています。



化成品原材料(DNM)
/ DNMZ02

化成品No	化成品名称	原材料名(商品名)	カテゴリ	メーカー名
0653	TSP202リコー	TSP202リコー	薬品	東洋インキ製造(株)
0654	CD-12(ショウワ)	ジオキシリド	薬品	昭和化工(株)
0655	RXA-61	テスロイドXA-61-146	薬品	日立化成ポリマー(株)
0656	E-150J	ニップシール E 150J	薬品	日本シリカ(株)
0657	RTD-110N	タケネット D-110N	薬品	武田薬品工業(株)
0658	サイロイド-65	廃止 サイロイド 65	薬品	富士シリシア(株)
0659	CB-40S	CYANINE BLUE NCNF-40S	薬品	東洋インキ製造(株)
0661	TWP-514	TWP-514	薬品	森村バーディッシュ(株)
0662	TWC-747	MICREX TWC-747	薬品	大日精化学工業(株)
0663	CF-5(コウシュウ)	無水カフェイン	薬品	中国(株)HDD
0665	RAE-11	アロロン 685	薬品	日精アロ-化学(株)
0666	NEST	NEST	薬品	三菱化成工業(株)
0667	APM-144	N-アミノプロピルモルホリン	薬品	広栄化学工業(株)
0668	PN-1(コネヤマ)	リン酸-アンモニウム	薬品	米山化学工業(株)
0669	TB-806Red	TB-806 Red	薬品	大日精化学工業(株)
0670	C-1172	C-1172	薬品	昭和化工(株)
0671	LX415A	Nipol LX 415A	薬品	日本ゼオン(株)
0672	RS-A-230	テスロイド XA 61-230	薬品	日立化成ポリマー(株)
0673	TI-1406W	マルチラック106W(ト)	薬品	東洋インキ製造(株)
0674	サイロイド-308	廃止 サイロイド S-308	薬品	富士シリシア(株)
0675	RBR-89	ダイヤナール BR-89	薬品	三菱レイヨン(株)
0676	TWP-704	TWP-704	薬品	森村バーディッシュ(株)
0677	STE-Zn(堺-P)	SZ-2000増化学工業	薬品	堺化学工業(株)
0678	EFB-23	還元鉄粉 EFB 200/300	薬品	日本鉄粉(株)
0679	RPB-5H	出光ポリブテン 5H	薬品	出光石油化学(株)
0680	リコー選赤	液体カゼイン	薬品	(株)矢野庄七商店
0681	TSP-202	リコー選赤	薬品	東洋インキ製造(株)
0682	モビニール DM-60	モビニール DM60	薬品	ヘキスト合成(株)
0683	パノナイト R	パノナイト R-1	薬品	日本黒鉛工業(株)
0684	OES-189	ネゴコート ES-189	薬品	香川製油(株)
0685	OCR-352	クリストール 352	薬品	エッソ石油(株)
0686	PP-45	Printex 45 Powder	薬品	Degussa A.G.
0687	OLB-6406	ルーブリゾール 6406	薬品	日本ルーブリゾール工業(株)
0688	P-210	P-210	薬品	森村バーディッシュ(株)
0689	RVH-100	UCAR SOLUTION VVNYL VVHH	薬品	U.C.G.
0690	SDE-DWG	ジメチルジグリコール	薬品	日本乳化剤(株)

原材料の安全性確認

9. 応急処置

* 応急処置

- ・飲み込んだ時 : 水で口の中をよく洗浄する。可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させる。
- ・皮膚に触れた時 : 触れた部分を水又は温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。
- ・眼に入った時 : 清潔な流水で洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。
- ・吸入した時 : 直ちに新鮮な空気の場所に移動させる。鼻をかみ、歌をさせる。
- ・その他 :

10. 火災時の処置

* 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 泡液、炭酸ガス、ドライケミカル、水の噴霧
- ・特別な消火方法 :

11. 漏出時の措置

12. 取り扱い及び保管(貯蔵)上の注意

* 取り扱い及び保管(貯蔵)上の注意

- ・取 扱 時
注意事項1 : 吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように適切な保護具を着用する。
注意事項2 : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
注意事項3 : 粉塵濃度の高い貯蔵内等ではスパークなどの発火源のないよう注意する。静電気対策のために装置、機器等の接地を確実に行う。
- ・保 管 時
注意事項1 : 高温多湿を避け、水漏れに注意して屋内に保管。
注意事項2 : 密閉保管。
注意事項3 :

リスクコミュニケーション (社内)

RICOH

(原材料取扱い部署における表示例 (職場に掲示))

					部署課・G		
1	名称	品名 (リコー) : No			製造部 製造1課		
		STE-Zn (境-P) : 0677					
2	成分組織	成分	亜鉛	含有量	ステアリン酸亜鉛 100%	毒性	非毒性
3	使用頻度	頻度	☒ 日 ☐ 週 ☐ 月 ☐ 年				
4	有害及び危険に関する処置	取扱上の注意事項		注意1: 火気厳禁、設備は防爆 注意2: 保護マスク着用		消火剤	
						泡沫・炭酸ガス	
		保管方法		☒ 冷暗 ☐ 常温 ☐ 密閉			
		応急処置		飲み込んだ時 意識がなければ頭を低くして寝かせる 目に入った時 15分間清水にて十分洗顔し、医師の来診を求める 吸入した時 新鮮な空気中に移し、医師を呼ぶ。 皮膚に触れた時 衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を水で洗い流す。			

緊急連絡先

リスクコミュニケーション（社内）

RICOH

2.化学物質の火災・流出予防への取組み

1.日常管理による汚染予防管理

日常点検項目（危険物／有害物）

危険物施設日常点検項目一覧表

◎：必須項目 ○：該当時
点検

対象施設	点検項目	頻 度		備 考
		1 回/日	1 回/月	
共通項目	・危険物貯蔵取扱い量の把握	◎	-	
	・保有空地の確保	◎	-	
	・整理整頓	◎	-	
	・消火設備への通路確保	◎	-	
	・適切な温度・湿度の保持			
	・遮光・換気			
	・危険物容器の溢れ・漏れ			
	・タンク・容器のアースの損傷			
	・溜めますの損傷			
	・油分離槽の汚れ			
日 常 点 検 一 覧 表				
対象：◎必須 ○該当時				
点 検 項 目	点 検 内 容	点検頻度と対象		
		有 害 物	特 別 有 害 物	
保 管 ・ 施 設	1.転倒・落下防止	転倒、落下防止は十分か	月1回 ◎ 月1回 ◎	
	2.保管場所表示	定められた表示はされているか	月1回 ◎ 月1回 ◎	
	3.施錠	容易に持出せないようになっているか	月1回 ◎ 常 時 ◎	
	4.薬液等の漏洩	薬液等の漏洩の有無	月1回 ○ 月1回 ○	
	5.流出防止の機能	流出防止（防液堤等）の破損の有無	月1回 ○ 月1回 ○	
	6.整理整頓	整理整頓されて余分な物がないか	月1回 ◎ 月1回 ◎	
取 扱 い	1.取扱い・使用の記録	使用の記録（担当・使用量）は有るか	年1回 - 使用時 ◎	
	2.在庫管理	在庫を把握しているか	年1回 ◎ 常 時 ◎	
	3.薬液等の漏洩	薬液等の漏洩の有無	使用時 ◎ 使用時 ◎	
	4.保護具の着用	薬品に応じた保護具の着用をしているか	使用時 ◎ 使用時 ◎	
廃 棄	1.廃棄の処理	適正に保管・処理しているか	月1回 ○ 月1回 ○	
	2.廃棄の記録	廃棄の記録は有るか	年1回 ○ 月1回 ○	

2.社内危険体感教育

危険物爆発体感教育



- 1.化学物質による、汚染予防や火災事故を予防するためにきめ細かな日常管理を行っています。
- 2.危険物による災害の重大性を認識するために、爆発の威力を体感する教育を社員全員を対象に実施しています。

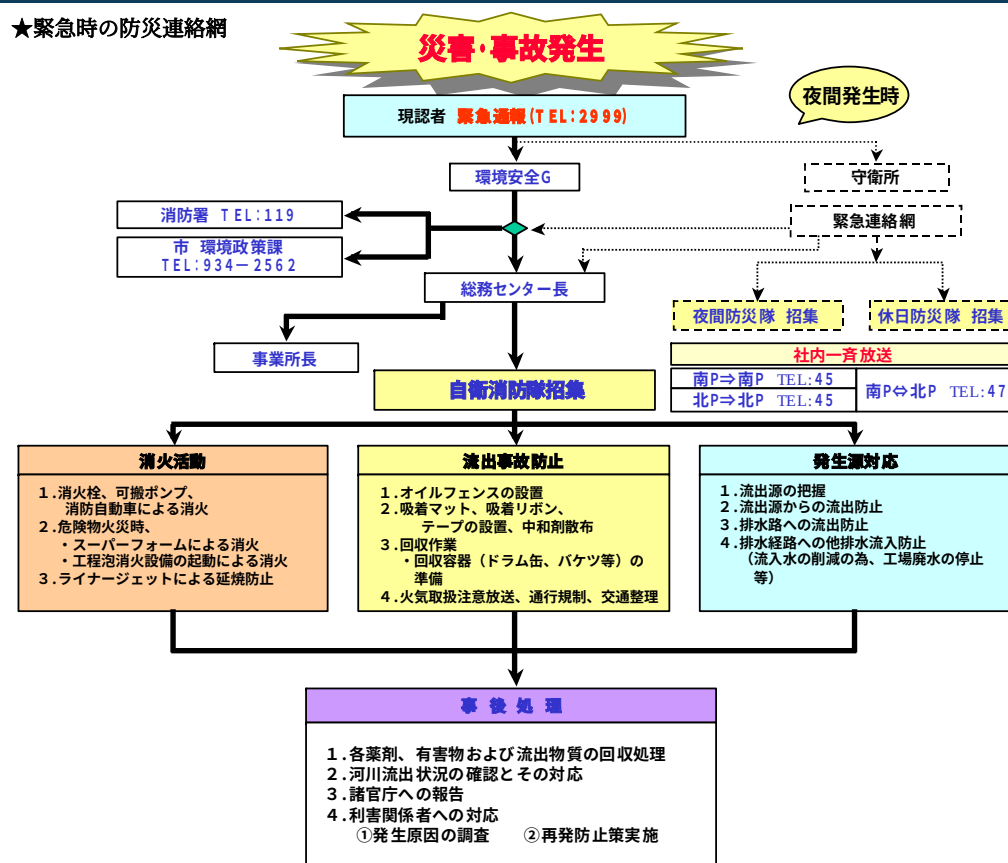
リスクコミュニケーション（社内）

RICOH

3. 緊急時対応訓練

① 緊急時における対処手順

★緊急時の防災連絡網



② 昼間防災訓練（溶剤流出）



③ 夜間防災訓練（消火・救出・溶剤流出）



化学物質の流出・火災事故が万一発生した場合に備えて、定期的な流出防止・消火活動の訓練を実施しています。昨年度からは夜間における防災訓練を開始しております。

リスクコミュニケーション (地域社会)

RICOH

1. 地域住民と実施しているSSモニター制度

地域貢献達成度の把握システム (SSモニター制度)

1. 狙い

地域への社会的責任の遂行の為に、種々の活動を実施しているが、これらの活動が地域に喜ばれているかどうかの評価を把握するために実施する。

2. 運営制度・活動内容

1. 活動の範囲

- 1) 対象地域
 - ・本田町自治会 ・沼北町自治会 ・西沢田自治会
 - ・リコー通り商店街
- 2) SSモニター … 合計 18 名
 - ・本田町・沼北町・西沢田自治会 各 5 名 … 計 15 名
(自治会長・副自治会長・一般 3 名)
 - ・リコー通り商店街 … 計 3 名
(理事長・一般 2 名)
- 3) 任期 原則として2年間(4月に改訂)

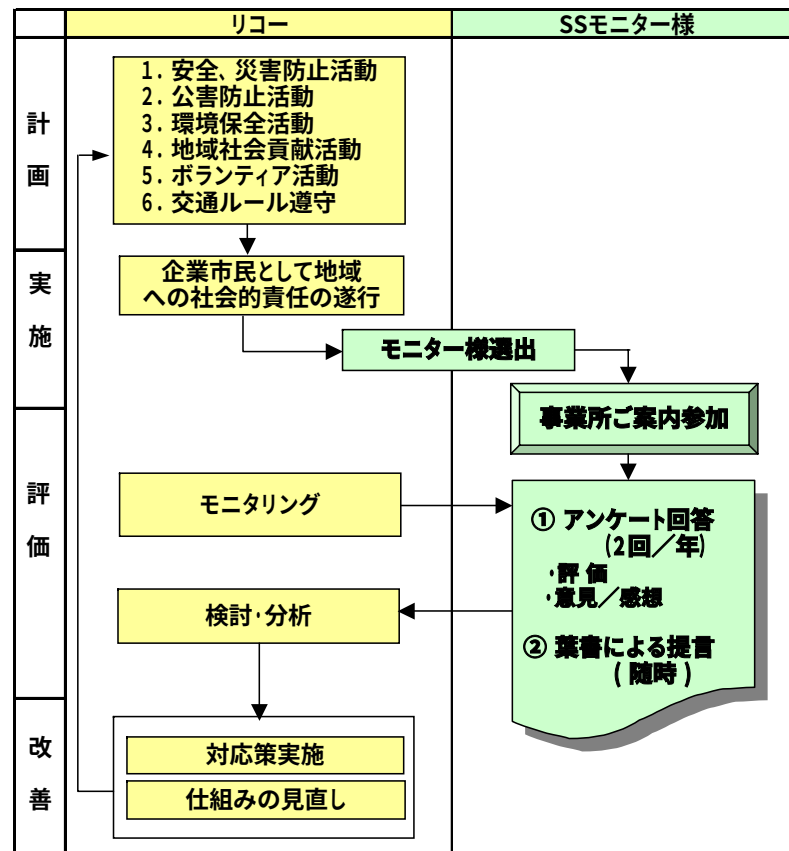
2. モニターリング

- 1) 調査方法
 - ① アンケート調査 : 毎年2回実施 (1月・8月)
 - ② 葉書による提言 : 随時
- 2) 調査内容
 - ・安全、防災活動への取組み
 - ・公害、安全衛生面の迷惑度合
 - ・環境保全活動、ボランティア活動への取組み
 - ・地域への文体活動支援施設の開放の満足度
 - ・リコー社員のマナー・交通ルール遵守
 - ・リコー、リコー社員の総合評価
 - ・フリーコメント(要望、クレーム等)

3. 事業所ご案内 (1回/年)

- 1) 活動内容の紹介と、モニターリング結果及び対応策の報告
- 2) 工場のご案内
- 3) 懇談会 (リコーのトップとの情報交換)

3. 制度運営システム



SS(Social Satisfaction)モニター制度とは、沼津事業所の運営を地域社会の満足度向上(環境保全面等)からみた課題の摘出・改善を行うための制度です。

リスクコミュニケーション (地域社会)

RICOH

《SSモニター制度の実績①》

〔SSモニター様アンケート用紙と調査集計結果〕

様式-3 H総C0002-沼総 様式改訂施行日 '04年03月01日

SSモニター様アンケート用紙

ABCDEF
沼津事業所

リコーは地域の皆様へご迷惑をお掛けしないよう、次のような活動を行っています。

1. 工場の事故・衛生面等によるご迷惑をけない活動
2. 工場の排水・煙等により、河川・海・空を汚染しない活動
3. リサイクル・省エネ等により、環境を保全する活動
4. 地域社会との融和を図り、文化・体育活動に支援・協力する活動
5. 企業市民として模範となる社員を育成する活動

これらの活動に対しまして、地域の皆様のご意見をお聞かせ頂き、更に皆様に喜んで頂けるリコーを目指したいと思っております。
つきましては、下記の質問について皆様の忌憚の無いご意見をお願い致します。

回答の中から1つを選んで番号に○をつけて下さい。

質問1. リコーは安全・防災活動を継続重点項目として取り組んでおり、火災等の事故防止に努めておりますが、皆様へのご迷惑度はいかがでしょうか。

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 5. 問題ない | 4. ほとんど問題ない | 3. 普通 |
| 2. 多少問題あり | 1. 問題あり | 0. 活動を知らない |

ご意見等が御座いましたらご記入下さい。

質問2. リコーは公害防止活動を永遠の課題として取り組んでおりますが、皆様へのご迷惑度はいかがでしょうか。

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 5. 問題ない | 4. ほとんど問題ない | 3. 普通 |
| 2. 多少問題あり | 1. 問題あり | 0. 活動を知らない |

ご意見等が御座いましたらご記入下さい。

質問3. リコーは環境保全活動の一環として『アルミ缶回収』や『リサイクル活動』を積極的に実施しておりますが、これらの活動に対するご感想はいかがでしょうか。

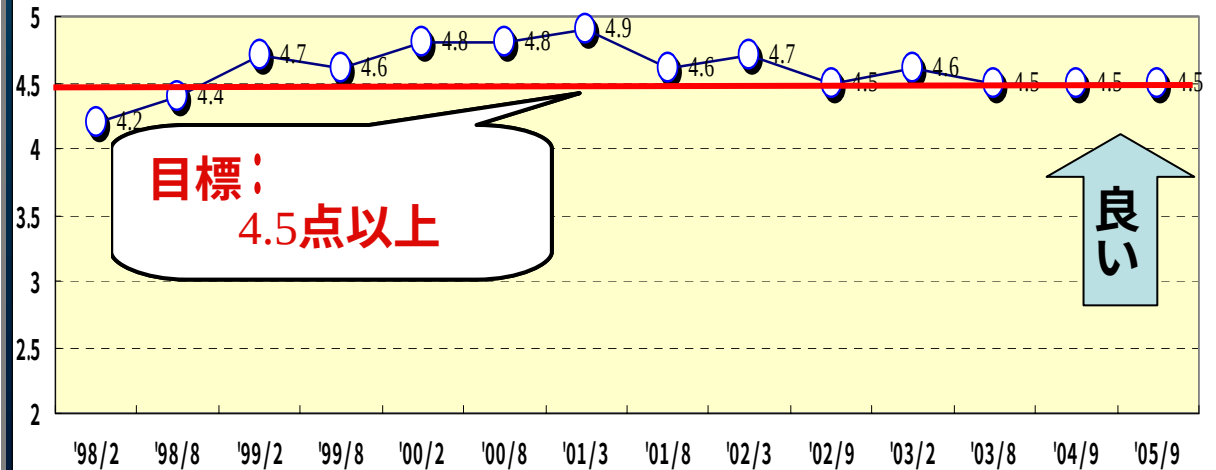
- | | | |
|------------|---------|------------|
| 5. 良い | 4. やや良い | 3. 普通 |
| 2. あまり良くない | 1. 良くない | 0. 活動を知らない |

ご意見等が御座いましたらご記入下さい。

質問4. リコーは地域へのボランティア活動の一環として、『韃道通りの清掃』や『新中川の清掃と鯉放流』を実施しておりますが、これらの活動に対するご感想はいかがでしょうか。

- | | | |
|------------|---------|------------|
| 5. 良い | 4. やや良い | 3. 普通 |
| 2. あまり良くない | 1. 良くない | 0. 活動を知らない |

ご意見等が御座いましたらご記入下さい。



〔SSモニター様による事業所工場見学風景〕



1998年からスタートし2005年9月で第14回になります。

《SSモニター制度の実績② 意見の反映結果》

要望等 (年月／内容)		対応内容
1998年1月	①地下水データの開示	1998年2月実施 ・89年度からの年度ごとの実績データを説明
1999年8月	①地下水の汲み上げが強力なため周辺の井戸の水位が下がった。 ②新中川への鯉の放流は再検討頂きたい。(環境を悪化させてしまう。) 継続の意見もある。	①-1. 用水量データの提示 ①-2. 事業所の環境目標に地下水の削減をいれて削減活動に取り組んでいる。 ③2005.6から新中川河口の海岸清掃へ変更しました。
2001年2月	①環境ホルモンの影響など、化学物質による水質汚染の可能性等、緊急時の対応についてアピールしてほしい。	①2002年3月工場見学時に、環境ホルモン、水質データ、緊急時の訓練内容をご説明しました。
2002年3月	①防災・公害・環境保全・ボランティア活動等を画像を入れて近隣自治会に送付しアピールした方が、より分かりやすく説明でき協力を得られると思います。	①2003.10に沼津事業所サイトレポートを発行し、近隣自治会及び行政等に配布を開始しました。継続実施中。
2003年2月	①防災及び公害予防への取り組みに及びその効果はどのようなになっていますか。	
2003年8月	①地域防災へも積極的に参画していただきたい。 ②火災が発生した場合、煙害があると思われる。 ③どの企業かわからないが、時々異臭が感じられる。 ④南プラントにトナー工場が建築されたが粉塵対策はどのようなになっていますか。	検討内容を紙面にてご報告(回答)しています。 ①施設の開放等出来る限りお役立ちいたします。 ②防災訓練・パトロールを実施しています。 ③排ガス処理装置の導入を進めています、異臭発生時はご連絡いただければ調査いたします。 ④新方式の吸着フィルターによりトナーの大気放出を防止しています。 ※防災に関しては、夜間防災訓練、危険体感教育・訓練にて一層の強化を図っています。

リスクコミュニケーション (情報開示)

RICOH

1. サイトレポートの配布による情報開示

リコー沼津事業所

環境報告書2005





**環境保全是
我々地球市民に課せられた使命!!**

★大気汚染予防

〔排ガス燃焼装置 (トナー)〕



溶剤排ガス燃焼装置を導入し、溶剤排ガスの大気排出量を削減しています。(他3基)

〔トルエンの使用・〕

トルエンは、沼津事業所の使用量が多く、環境影響の大きい製品の生産の際にトルエンの代替プロセスを開発し、350トン(換算)削減しました。

★水質汚濁予防

〔南プラント総合排水口の水質監視装置〕



各排水口には、自動監視装置(pH、流量計)を設置し、中央監視室で常時監視しています。

〔サマル・ジアソ廃水処理装置〕



放流水(pH)の自動監視と透視度の測定を実施しています。

〔北プラントOPC排水処理装置〕



放流水(pH)の自動測定を実施して緊急遮断により外部へ漏れは防止されています。

〔生活排水処理装置〕



浄化槽の維持管理と定期的な検査を実施しています。

モニタリング結果

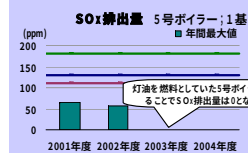
※グラフ中の直線は「—：法基準」「—：市協定」「—：自主基準」の値です。尚、法基準値については特に制限されていないものもあります。

グラフは低い方がよいんだって。



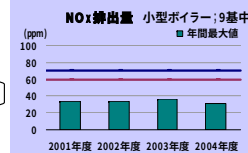
【大 気】

SOx排出量 5号ボイラー：1基



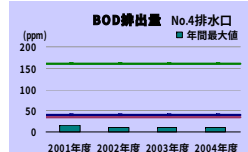
灯油を燃料としていた5号ボイラーを廃止することでSOxの排出量は9となりました。

NOx排出量 小型ボイラー：9基中

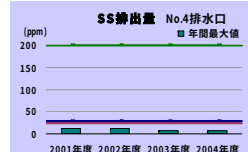


【水 質】

BOD排出量 No.4排水口

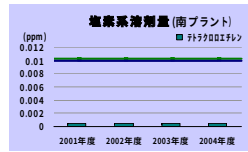


SS排出量 No.4排水口

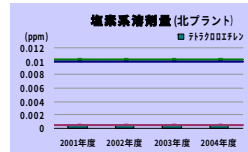


【地下水】

塩素系溶剤量(南プラント)

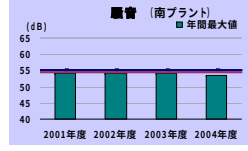


塩素系溶剤量(北プラント)

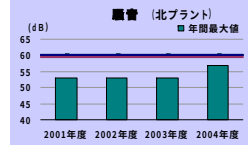


【騒 音】

騒音 (南プラント)

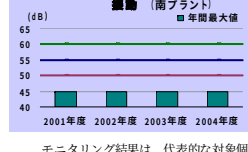


騒音 (北プラント)

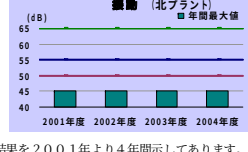


【振 動】

振動 (南プラント)



振動 (北プラント)



モニタリング結果は、代表的な対象個所の測定結果を2001年より4年間開示してあります。法基準、沼津市との協定値、自主基準を上回ったものではありませんでした。尚、今回開示させて頂いた測定個所以外でも、すべて自主基準を下回っています。

沼津事業所の環境保全活動をサイトレポートとして配付、情報開示しています。

リスクコミュニケーション（情報開示）

RICOH

2.リコーHPによる情報開示（サイトレポート、PRTR法対象物質データ）

環境経営TOP

パフォーマンスデータ - サイト別データ

省エネルギー 省資源・リサイクル 汚染予防

製品 事業所

サイト別データ

環境経営TOP

製品への取り組み

事業所での取り組み

環境社会貢献のコミュニケーション

データと資料

パフォーマンスデータ

地下水汚染調査結果

グリーン調達ガイドライン

活動の歴史

お問い合わせ

環境サイトの検索

検索

サイトマップ

用語集

アクセスランキング

グループ会社の環境ホームページ

環境経営TOP

製品への取り組み

事業所での取り組み

環境社会貢献のコミュニケーション

データと資料

パフォーマンスデータ

地下水汚染調査結果

グリーン調達ガイドライン

活動の歴史

お問い合わせ

環境サイトの検索

検索

サイトマップ

用語集

アクセスランキング

グループ会社の環境ホームページ

<http://ext.ricoh.co.jp/ecology/data/03.html>

サイト別データ＜PRTR法届出対象物質＞

事業所名(会社名): 沼津事業所

単位: t

政令 番号	物質名称	取扱量	排出量				移動量		消費/ 除去処理/ リサイクル量
			大気への 排出	公共用水域 への排出	土壌への 排出	埋立処分	下水道 への移動	事業所外 への移動	
1	亜鉛の水溶性化合物	25.0							25.0
43	エチレングリコール	55.2	0.8	0.0					54.4
145	ジクロロメタン	18.0	7.9						10.1
172	N,N-ジメチルホルムアミド	34.8	0.5						34.3
181	チオ尿素	21.4							21.4
227	トルエン	492.5	26.6						465.8
307	ポリ(オキシエチレン)	1.6							1.6
314	メタクリル酸	1.3	0.0						1.3
320	メタクリル酸メチル	3.8	0.0						3.8

*ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)

リコーHPにて沼津事業所の環境報告書やPRTR法届出対象物質の情報公開を行っています。

1. (株)リコー沼津事業所について

① 沼津事業所の概要

2. 化学物質管理について

① 方針

② 管理体制

③ 管理システム

3. リスクコミュニケーションについて

① 社内

② 地域社会

③ 情報開示

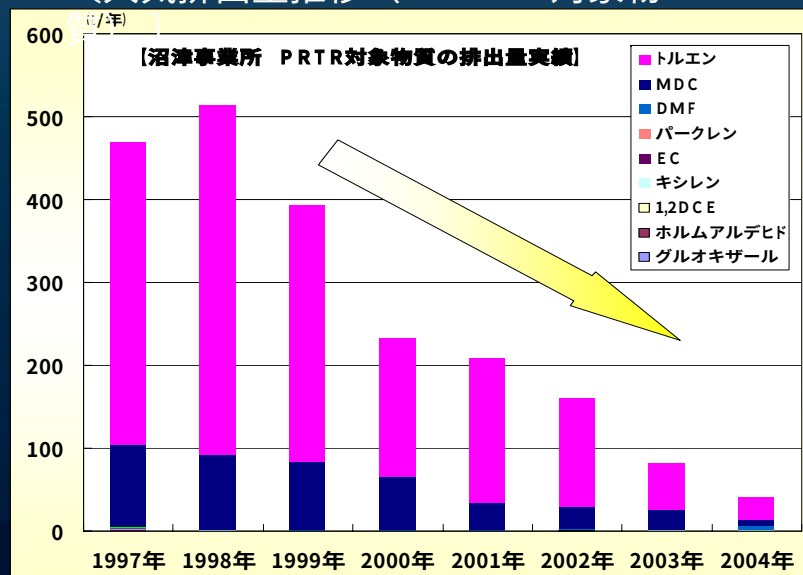
4. 環境負荷低減活動について

① 大気汚染防止

5. 課題と今後の進め方

1.大気汚染削減活動実績

〔大気排出量推移（P R T R対象物）〕



〔排ガス処理装置〕



〔P R T R対象物質出量削減のための主な改善〕

年度	改善内容
1997年度	洗浄用パークレンを水洗浄化により全廃
1998年度	MDC回収装置を導入
1999年度	トルエン、MEK排ガス燃焼装置を導入
2002年度	トルエン排ガス燃焼装置を導入
2004年度	MDCの代替化による全廃（2000年度から活動開始）

沼津事業所（リコー）では1997年度からP R T R対象物質に加え、環境影響化学物質の使用量及び排出量削減に取り組んでいます。

2.汚染予防施設のパトロール

(排水処理施設)



(排ガス処理施設)



管理区による日常点検に加え、導入した排出削減設備が正しく維持されていることを公害防止管理者等によるパトロールで定期的な確認を行っています。

1. (株)リコー沼津事業所について

① 沼津事業所の概要

2. 化学物質管理について

① 方針

② 管理体制

③ 管理システム

3. リスクコミュニケーションについて

① 社内

② 地域社会

③ 情報開示

4. 環境負荷低減活動について

① 大気汚染防止

5. 課題と今後の進め方

◆地域とのコミュニケーションとして、SSモニター制度を中心に実施して参りましたが、より密接な関係に発展すべく、化学物質に関するリスクコミュニケーションを含む情報公開内容・ツールの充実、開催頻度増、対象者の拡大を図ります。

◆東海地震の強化地域内にあり、地域への影響を最小にするための対応策として、設備面と防災組織などの強化はもとより、有事の際には地域住民、行政及び近隣企業との連携の強化を図ります。

◆化学物質によるリスク低減策として、使用禁止・削減対象物質の拡大や代替物質化などの本質的な改善の仕組みの構築に取り組んでいきます。

「聴覚有難うございました」

RICOH

